滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）
一長期連掲減價面議

元豆六吊九百至六吊八百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
邊車共來七十餘輛
市共上車三十餘輛

一連紙　一フールスカツプ　仝　一中判洋紙　百枚　一半紙野紙　一寒紙　四十枚綴
一圓　四圓　二圓　二十錢　十四錢

一椅子　一帽筒　一卓子　一卓子掛　一厨房用戸棚
一圓五十錢以上四圓五十錢　三十圓以上三十五圓　四圓五十錢以上十三圓五十錢　六圓以上十二圓　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　一箱火鉢　一宜德火鉢　一對
八圓以上十一圓五十錢　二圓以上三圓五十錢　六圓以上九圓

特別廣告

告示

一本年二月より六月に至たる牛營間土地貸下料未納者にして七月十五日迄に尚納付せさるものは其土地の貸下を廢除す
明治三十九年六月二十六日
營口軍政官　與倉喜平

公告

電話交換手募集
當局電話交換手を募集す志願の者は（滿十六年以上二十五年迄にして高等小學卒業者しくは同等以上の學力を有する視聽力完全なる日本人に限る）志願書に自筆の履歷書を添へ携帶出願すへし
明治三十九年六月
營口軍政署電話局

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
●相摸丸　七月三日午前營口出帆　太沽、芝罘、仁川、釜山、門司、神戸
●立神丸　七月六日午前營口出帆　太沽、芝罘、長崎、神戸、門司行
●横濱丸　七月六日　大連出帆　門司神戸行
大連出帆
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ヘ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二十六番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
●能登丸　七月四日入港　東口公園地横
代理店　ブツシユ兄弟商會　遠來洋行（電話二十三番）

瀛船出帆廣告
●鷹鳥丸　七月八日門司行
松茂洋行船舶部　海岸東稅關西　電話（五二五七）

◢資本金貳千四百萬圓
◢積立金一千壹百五拾萬圓
横濱正金銀行牛莊支店
本支店出張所　横濱　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺（支配人室）（電話百八番）

品宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子布手巾花巾洋脇火柴鐵表等類價值格外克已並且貨真價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至
總司理人　田中賴之助謹白
電話（店一八三番 住所五五番）

品東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口綿紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣地房船隻運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房方便寬大凡有輪船裝卸貨物極爲利便圓貯油餅豆米麥運爲合宜並設有輪船一隻名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人　桑亮卿謹白

品東永茂
本號開設營口創辦油榨生意多年以本營業非所長特將房壹概經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素務変厚並與各南北客經理有年誠信相孚懇通知之
正理事　潘玉田　副理事　金德魁
設在營口西北街路南

品西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料碼頭堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

品仁裕號
保裝運各幫火輪船生意兼賣各幫洋什貨糧石等色
營口西大廟街路北營乙第十三號

品志岐組
本組開設營口綏定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價值格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸
本主人謹白

品永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明價照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街　東櫃（電話九十五番）
西義順棧內　西櫃（電話九十八番）

志岐組材料出售
木料棧
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綃布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
朝日ビール特約大販賣
營口元神廟街元神廟南邊路西（電話一百九十二号）

三井
電話第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷
○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米
○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

三井洋行啓
啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用劇有郭漁笙王鹿芹朱斐章先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦諸貴商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨內面議可也

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即般實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克已諸公賜顧請駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行
電話第六十六號　第九十一號

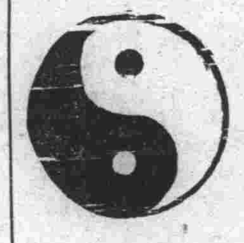
工
營口元神廟前
飯塚工程局材料部（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

營口
承文信記書坊
現廠西大街專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙士商賜顧者價照批發格外克已不悞　本號主人謹白

周
鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順大連營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

丸重轉運行
啓者本行前經關東總督之特准開辦東清鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站皆設分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面議是荷
營口西北街（電話十八號）
既設分局　牛家屯車站（電話四十六號）遼陽、奉天、昌圖各車站

銃砲火藥
軍刀販賣業
本行蒙　官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
營口元神廟街第十號
官許商　武田洋行



關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉
光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口永世街
●森醫院
院長醫學得業士　森矯
●齒科部
主任齒科醫士　兒島市郎
啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療拔齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否歟落一齒則音聲爲之溷濁面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒凹窩則須納去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床列植義齒其他或藏齒頭以金冠或欲入義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因藥液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不憂有齒患矣然中國醫界之風潮尙未發達治齒之術措而不問殊爲憾事本院主引爲已憂測然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇摯其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

遼河總運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請到本號面議特仰週知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

東京電報

●浦鹽貿易の盛況（六月三十日發電）　浦鹽に於ける本年の貿易は一月より五月に至る迄の日本品輸入額二百万圓に達しこれを戰爭以前に比すれば優に三ヶ年以上の輸入額に達すと

（七月一日發電）

●滿鐵創立委員長　滿洲鐵道會社創立委員長には兒玉大將任命せらるべし

●鴨江森林經營　鴨綠江森林經營は日清合同會社組織として資本金二百五十萬圓の豫定

●博覽會の內定　博覽會の名義は內國實質は万國的經費は千万圓開設期は四十三年と內定したり

奉天電報

●福島少將一行（六月三十日午後九時發電）　福島參謀次長山座政務局長の一行は昨夜再び來着せり當分滯在す

（七月一日午后九時十五分發電）

●仝上別報　福島次長山座局長は今日新民屯に行き明日歸奉遼陽を經て營口に向ふ豫定なり

倫敦電報

●埃及人の處刑と英國議會（六月二十九日發電）　タンターに於て英國士官に暴行を加へたる埃及人四名は絞刑に六名は笞刑に處せらる右に就き外務大臣サー、エドワード、グレーは議會に於て質問に答へて爾今英國士官の鳩獵は禁止すへく又笞刑に關する法律上の疑問に就ては調査をなすへしと口約せり

●露國の戒嚴令發布　露國に於ては各地に戒嚴令を發布せり殊に南部に於て著し

日報短評

我營口の前途

營口の前途を悲觀するの徒は謂らく、將來此地の繁榮は彼の東清鉄道の大經營と共に漸次大連に奪はれ營口は年を追ふて衰微に傾くべしと何ぞ其愆まれるの甚しきや。今の營口なるものは陸に關外鐵道の便あり水に遼河の利あり一面渤海灣一帶に於ける物貨の吞吐場として將た一面軍事的樞要地として永久に亡びざる而已ならず歳月を重ぬるに隨ひ愈繁盛の度を加ふべきは疑を容れざる處なり。冬期三ヶ月間の結氷は彼の大連の不凍港たるに比し多少の不便を感ずるが如きも決して然らず由來大連と營口とは商業上の利害を異にせるが故に將來大連の繁榮は其大勢上に於て我營口に影響する筈なく、且況んや自然的地の利は人力を以て遽かに之を左右するの不可能なるに於てをや。此故に遼陽附近以北に於ける諸般の施設上の關係連絡は遼東遼西の咽喉地たる此營口を措いて他に求むべからず万一我に於て之を擲つか若しくは積極的經營を中止するとすれば日清以外第三者の取つて之に代るべきは必然の理にして我の不祥之に過ぎたるものなし（小らん）

雜報

●關東總督府官制　關東總督府官制は既に法制局の審査を結了したれば近日中に發表さるべき由なるが其內容は畧ぼ臺灣總督府官制と同じく只少しく異なる點は軍事行政及外交にして軍事に付ては租借地守備軍及鐵道守備軍を指揮監督するのみ行政に就ては軍政撤去後は專ら之に任じ外交に就ては外務大臣の移牒を受け或種の權限を附與せられ直接領事を監督し機宜を失することなからしむべき規定なるが如し而して總督は親任官にして陸軍大將を以て之に任じ其部下に陸海軍幕僚及民政局を置き陸軍幕僚は將官を以て參謀長たらしめ民政局長は高等官一等若くは二等の文官を以て之に任じ其下に數課を置き現今の軍政組織を全く平時組織に改めたるものなりと云ふ

●韓國の財政　韓國の明年度歳計につき財務顧問部の發表したる意見によれば收入は急に其增加を見ること能はず先づ歳入を八百五十萬圓餘と豫定し又歳出は中諸般新事業の擴張と整理に伴ひ從來に比して著しく增加すべきものは警察、財務の施設、農業氣象觀測、土木調査及び借款を以て起工する事業に伴ふ經常費にして其他國債利子九十四萬圓なり要するに本年は氣候温順にして米作も稍好況なるが故に今後格別の變動なくば明年度の歳計は十分確實の基礎ありといへり

●滿鐵補給方法　南滿洲鐵道會社に對する利子補給問題は政府の持株として同會社に提供すべき鐵道、炭礦其他財產の見積價格並に今後の鐵道改良、車輛設備及び新線路敷設等のため新に一般株主より募集すべき資金額等と共に目下調査中にして近々設立委員任命の上決定すべきが別に國庫より補給利子を支出する事なく今後新に募集すべき株式に對する配當を優先配當となし其配當が六朱に達するまでは政府株に配當をなさず六朱以上となりたるときは之を政府株及一般株に配當するの方法を採る事にすべしとの說あり

●漁權問題の遷延　熊谷長官以下樺太民政署員は地學協會內の假事務所に爲す事も無く日を送りつゝあり右は漁業權の解決未だ了らさる爲め急ぎ歸任するも執るべき事務なしとて斯は遷延しつゝある次第なるが漁業權問題の交渉は露都に於て稍好都合に進行しつゝあれば來月中には之を解決し終るべしと

●露國極東總督　露國は日露戰爭前に極東總督を旅順に置き滿洲に於ける施政の全權を委したる前例に則り今回北滿洲一体の地を管理し万般の經營に當らしめんとて總督府を哈爾賓に設置せんと計畫しつゝありて同總督はリチウヰツチ將軍任せらるべしとの說あり

●外交官異動說　稻垣元暹羅公使の辭意動すべからざるものあり其の後任には佐藤辨理公使に略內定したる由にて稻垣公使は多分加藤元白耳義公使に替り同地駐箚仰付らるゝことゝなるべく又駐英大使館參事官は佐藤辨理公使に擬せられ居れるが駐暹公使たることに內定したるを以て同參事官には目下賜暇歸朝中なる日置米國總領事榮轉することに決し不日發表せらるべしと

●青島の近況　昨今の氣温は日中尚八十一度以上に上らず加ふるに土地の高燥にして市街の清潔なる夏期には態々南清各地方より西人の來遊するもの年を追ふて增加し夏季娛樂機關も追ひ追ひ整頓せるが如し▲當地の物價は一般に低廉にして野菜、魚類等に富み鷄一羽三四十錢、鷄卵百個九十錢位の相場にして葉實の如きも四季不自由を感ぜずして就中葡萄、梨の如きは頗る新來の客に珍重さる▲獨乙は近來著しく對清貿易の發達に勉め現に當地に於ても最近麥藁眞田及豆粕の如き非常に輸出の增加を見るに至れり▲當稅關の最近三ヶ月間に於ける輸出入貨物に對する課稅徵收高は無慮二十万兩に垂んとし其三分の二は清國政府の收入となり三分の一は獨逸政府の所得となるものなりと云ふ

●開放地の自由旅行　從來滿洲內地へ旅行せんとする者は已に開放せられたる地域と雖も軍政署の旅行免狀を得るに非ずんば乘車券を得る能はず一般旅行者の不便一通りならざりしは勿論我對滿洲貿易の發達上尠からざる障害たりしに今や滿洲の秩序漸く緒に就き我軍政の撤去も早晚行はるる可らざる事と爲れる爲め本月一日よりして滿洲中已に開放せられたる地域へ旅行せんとする本邦人は軍政署の旅行免狀を要せずして自由に前往し得ることと爲り其旨軍政署より一般に告示せられたりといふ

●日本人會總會　同會にては一昨日午後一時より其事務所に於て臨時總會を開き會則第十四條及第十五條の變更を議決し第十四條に於て會員五十名以上の請求あるときは何時にても臨時總會を開くことを得と改め次いで別項の如く會長選擧を行ひ總つて評議員五名の補欠選擧をなせりと云ふ

●日本人會々長　曩きに瀨川同會々長の辭任せしか爲め一昨日の臨時總會に於て會長撰擧をなせし結果豫報の如く橫濱正金銀行牛莊支店長中村錠太郎氏當選したりと云ふ

●軍政官の說明　上記日本人會總會の席上に於て與倉軍政官は過般同會の提出せし諮問案に關聯し當市街地移住に關する邦人の利害に付き說明演說する所ありたりと云ふ

●遼陽日本會　遼陽日本人會は在滿洲日本人會中比較的健全を以て稱せらる始終物議の絕えさる營口に比し若しくは無用の長物を以て評せらるゝ奉天に比し別に異彩を放てる觀ある固より言ふ迄も無し然れとも遼陽の地たる其在留邦人の數を以てするも遙に營口奉天に及はず其會員の種類よりするも雜駁なる分子は比較的に多からず其平穩無事にして未た惡聲の外に聞ゆるある無きもの實に遼陽日本人會の幸とする所なり然れとも財政の基礎の鞏固ならさるは畢竟日本人會其物の基礎の鞏固ならさるを意味するを以て現行の會費維持策を全廢し別に適當の財源を發見し在留邦人の公共事業たるへき性質ののにして目下個人の手に委せられ居る者を會の事業に移さは日本人會其物の事業として極めて適當なるのみならす會の活動是れより始めて策するに足らんかとは在遼陽有力者間の意見なりといふ（遼陽通信の一節）

●仙波少將の賜暇歸朝　大石橋に駐屯せる步兵第三十一旅團長少將仙波太郎氏は今回約一ヶ月の賜暇を得て歸朝を許され昨夜十一時五十五分發の列車にて歸朝の途に就けりと云ふ

●正金の勸債賣出　當地正金銀行支店に於ては此程日本勸業銀行貯蓄債券ヌ號到着せるにより昨二日より來月六日迄同店に於て賣出したりといふ

●目睹耳聞　營口の領事中で日英露の三ヶ國共揃も揃つて其妻君が妊娠中で今にも張切れそうなお腹を抱へてゐて餘計なおセツカイながら先に生れるのは何國であるやらと心窃かに心配してゐたが遂々日本領事が勝を制して此程玉のような男兒を擧げられたとやら誠に芽出度いことである▲營口に來る誰人も奇異に感ずるのは元神廟街郵便局宿舍の筋向ふに捌荷洋行といふ店があつて御丁寧の振假名付の招牌が掛つてゐるので種々解釋を試みて見たら頓と其喜味が判然しなかつたが或人が附會して荷を捌くと云ふ意味で運漕問屋でゝもあらうかと言つたのでは、ア成程▲も一つ興味のあるのは永世街に唐呼洋行と銘打つた橫招牌を揭げた家がある何と讀むのか知らないがこれは前の捌荷の方法で以て自分で解釋してツマリ唐を呼ぶといふ意味で多分支那人向雜貨商でもあらうかと頷いたのであつた▲尤も亂暴なのはその近所に日の丸旅館といふがあるが白壁に餘り見事でもない筆蹟でナグリ書をしてゐるが旅の字を抹殺してゐる處は如何にも不体裁ぢや▲支那は流石に文字の國で何處に往つて見ても招牌丈は頗る見事なものぢや▲それに就て面白い話がある東京で支那の留學生に最初不愉快に感ずるものは何ぢやと聽いたことがあるスルト所謂市店の招牌の粗末なのと字のまづいには恐れ入ると答へた▲鎖細のことのようだが國家の躰面として寧ろ對支那人策として招牌などには注意して貰ひたいものだ

●銷夏錄（七）（小檻生）

雪の卷

僕が幼少の頃は惡戯仲間の餓鬼大將でさんぐ親達を泣かせたものだ、それに吾邸には市といつて耳の尖つた豬毛のムクぐした可なり強い純粹の日本犬がゐて何處に往にも屹度餓鬼大將たる僕のお供をするのであつた。

丁度お正月のことであつた、夜來霏々として雪降り、積もるといふ程でもなく雀のサンリ位までにふり込んで野も山もキラぐと朝○に照り輝やいて小供心にも絕景であるてふことを認識した結果が例の惡戯の野心ムラぐと起つたので、僕と市が兵糧にとて切餅をば臺所から窃と取り出し下女に強請つて貰つた砂糖と一緒に兩の袂に孕ませ雪が降つて椽先に喜び狂ふ市を麾いて程遠からぬ裏手のお城山へと家を飛び出したそれは無論狩人の眞似をする爲であつた。

僕か飼犬は獵犬ではない、何点であるが頗る機敏な性質で能く主人公たる僕の意を迎へて前にたつて其處此處と獵り步く內に氣魂しい羽敲の音がすると思ふと大きい山鳥の雄を樹の上に追い上げてワンぐ吠え立つる、山鳥は例の長々しい尾を垂れてキヨトリとした顏付で一生懸命に犬の方を見下ろしてゐた。

せめて日頃玩弄にしてゐる半弓でも持つて來たならば僕はいくら氣を燥つて見ても詮術かないのでせめて小石でも擲げつけて遣らうと思つて俯向く途端にズドンと一發鐵砲の音がすると同時に樹の上から山鳥はバタリと落ちて來た。

それを見た愛犬市は矢庭に咬へて來て左も手柄そうに尻尾を牛蒡の如く振り立てた、僕はこの不意の獲物に宛なから鬼の首でも取つたかのように歡喜に打たれてドキマギしてゐる內に傍の小藪の蔭から樺の樹皮で編んだ頭巾を被ぶつて同し樹皮で造つた脚絆を穿いて手に火繩筒を持つたほんとの狩人か顯れた、よく見れば見覺えある高田村の百姓平吉であつた。

『坊ちやん、その鳥は私が打つたのだから此方に下せえまし』

『戯談いつちやアいけないヤ旬点僕の犬が追い上げたからお前に遣るものかヽヽヽヽ』

言ふが否や突如その獲物を提げて一散に走せ歸つて左も得意らしく僕の母に一部始終を話すと母は障子越しに冬日を浴びつゝ針仕事をしてゐたが其手を止めてヂツと僕の顏をば覗き込んで潤んだ眼元からホロリと一雫襟下に霑した、そしてこう言つた。

「お汝は成人の後とても立派な人間にはなれない」世にも慈愛深きこの一語は小供心にも僕の肺腑を刺して母の膝下に跪づいて只管罪を謝した犧てその獲物は高田村の狩人平吉か許に其儘送り還されて仕舞つた、

●東西南北　岡山孤兒院では收容兒童か從來二三百名に過ぎ無かつたが東北の凶作後一千二百名に爲つたげな慈善事業の發達は深く喜ふへきてあるが其が社會一半面の悲慘なる出來事の反映であると思へば寧ろ悲觀的現象てある▲日本橋の濱町に元祿風呂が出來て衣物を脫ぐ部屋からつゝら、鏡臺、手拭、風呂場の敷石迄か元祿式であるげな流行も餘り極端に爲つては感服も出來ない▲七十四歲の矢島楫子女史今回には侯伊藤氏の下髭を落として韓國に統監たるあり近くは釋雲照律師の滿洲を巡錫せるありまだ其外に奧村の婆さんも飛びヘチて居る併し老人の元氣は餘り國家の慶事て無い▲前後三回に三百八十六名の卒業生を出した東京女子大學て其卒業後の狀況を調べた結果は家庭補助者百九十七名敎育に從事する者六十六名修學を繼續する者三十四名雜誌の編輯に從事する者二十一名同校內設備の實業部に從事する者五名死亡者二名て一家の主婦と爲つた者か漸く六十一名てある女子大學といふは畢竟するに最高女ハイカラの製造所てあるといふとを意味する▲豆腐の腐敗したのとせないのとを鑒別するには先づ豆腐を清水に入れて見て其沈んだのは良品で浮き上るのは腐敗品であるさうなから豆腐を買ふには豆腐屋に行つて成るへく沈んだ土左エ門を引上げて來るに限るさうぢや

日報俳壇　野梅選

藥つゝむ紙のしめりや不如歸　雲舟
廓には情死ありしとよ時鳥　牛骨

雜誌ホトヽギスの表紙に題して

天馬空に驅けるかあらす子規　同
里遠き神の御社やほとゝきす　千曲

上田城趾懷古

二十万の寄せ手も昔時鳥　同
木枕の首筋いたしほとゝきす　野梅
時鳥夜山低しと覺えけり　同
みとり子の夢に笑ふや不如歸　同
ほとゝきす味噌嘗めて酒二合程　同
時鳥坐頭の耳そたしかなる　同

▲課題に應して寄せられたる俳句は來る六日の誌上より披露しはしむへし
▲夏季雜題は例により得るに從ひ揭載す本社編輯局俳壇宛に御投稿を乞ふ

●編輯より　木葬老人曾つて不得要領を標榜して我等が洒落を宛も惡くさげに罵り候ひしは讀者の耳に尚ほ新たなる所と存候然るに近く木葬老甚だ要領を得たる新聞を耳にいたし候そは老人一夜漂然として無何有の鹿境に遊び翌朝頻りにほくそ笑み居り候ため機敏なる朴訟老は忽ち例の筮竹を捻りヘタと膝を打ち此の卦はこれ容易ならぬ御慶事有るを示す同人當さに相慶すへしといと嚴かに宣し候ところ木葬老頭を搔きつゝ「ヤア中てられた」と嬉しそうに亦た苦しそうに唸り實情此に明白致し候より目下朴訟老主任となりて日取り万端取り極めの爲め大車輪の斡旋を致し居り候條何つれは改めて木葬老より御披露可致との事に御座候不一

汽車
關內外鐵道　上り　營口發前八、二〇　溝幇子同九、四五　錦州同后三、四五　下り　錦州發前七、〇〇　山海關發前七、〇五　錦州同后三、三五
東清鐵道　上り　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、三〇　營口發前六、三〇　下り　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、三〇　大石橋發前八、二五
淡谷　本號開設營口東街堆子發賣　栢木元料紅松料木油松方料元木大小
歐米各國最新流行形　電話百
諸鐵工製作　鐵
天氣豫報　營口地方　自六月廿九日午後六時　至六月卅日午後六時

雜報

●美人と爲る法

婦人の化粧の先づ第一は白粉である。其白粉は人種により、國々の習慣にもより其他時間や金錢や手數などの多少にもより何樣にも方法がある此所には要なことで容易て經濟で美良になる仕方を述べる

▲沐浴　先づ白粉をつける前に注意するのは沐浴である、西洋では電氣浴だのミルク浴だの貴婦人間に行はれ水は蒸溜水を用ゐるが營口では軍政署の外鳥渡普通の家には行ふとが出來ぬ總べて風呂の水は礦物質を含まない軟水が良い、尚一夜浸しの硼酸水(八十倍乃至百倍)は最良い、之は僅かのふき出ものは直に治つてしまふのみならず、顏の色を白くしてキメを細かにする効がある、價も至て廉い降雨の連く時などを己むを得ず濁水を用ふ時には洗つた後まで其水のついてゐない樣に丁寧に拭はねば濁水には種々の混り物があるから大層皮膚に害を與へる、塩水は身体を壯强にする効があるがキメを荒くするから注意が肝要である、温湯の度は攝氏三十七八度より熱いのは皮膚を焦かす恐れあるのみならず、一時に皮膚が膨張して外氣に逢ふと冷たいので收縮して皺が出來る、顏には成べく微温湯が良ろしい熱いお湯の好な婦人は後で鳥渡水で洗つてそれから白粉をつけると美に爲る湯屋などで丁寧に磨いて立派に白粉をつけてさて歸つて視ると皺が澤山あるどうしたんだろうかと心にかける婦人は此法を驗するがよい

▲食物　血色は大に顏の良を好くも悪しくも見せるので至て大切なことである外から附けた色は兎角自然に備へてをるより劣るもので自然の色は何となく奥床しい所がある、そして此血色を作り出すのは食物である滋養の多い消化のよい食物をとれば次第に血液の循環がよくなり顏の色が從て美にもなり澤も出來る普通滋養食物の外いちご、アツプル、ほうれんそう、クリームなどは血色を善くするに最効がある烟草、塩からきもの、珈琲、茶などは光澤を失ふ

▲空氣　血色が食物に係る如く空氣の如何にもよりて血色は善くもなり又悪くもなる清らかな空氣は朝に限らす朝早く起きて涼しい心地よい空氣を呼吸すれば身体各部の衛生となる此清らかな空氣は顏の光澤を良くするものであるから朝の散歩や運動は最も良い、若し家事の都合などで朝散歩したくとも出來ない婦人は一日中の仕事で何べく家の外ですることを操り上げて朝爲すやうにするが良い

▲運動　西洋人の血色のよいのは運動によるからであると生理學者は言ふ運動の必要なのは言ふ迄もない美人と云へば深窓を連想された封建時代の考へは不可ないが去れはとて無暗に運動するのも身体に害を及ぼし顏をきたなくする壯健者は一日に二里歩行する位最適當である夏の眞晝など日向で運動すると非常に黒色素が出來るから運動する時には場所と時と方法など考へねばならん

●佛敎婦人會の例會　當在本願寺出張所に於て本日午後一時(營口時間)より營口佛敎婦人會例會を開き歩兵第六十一聯隊第三大隊附里村一等軍醫より婦人衛生に關して有益なる講話あり次で寺本布敎師より一場の演説ある由なるが該婦人會は開設尚日淺きにも係はらず目下會員既に三百名に達せりといふ

●不埒なる自稱記者　濟陽停車場附近河原林太郎方へ先月より滯在する二十四才の灰殼男橋某といふは自分は東京時事新報記者なりと横柄に言觸らし唯爲すこともなく同地方を徘徊しおれるが先日の事なり清人の飼犬を故なく撲殺したる廉を以て憲兵隊にて説諭されしにも懲りず其後清人の人力車を不法にも破壞したる爲め再び憲兵隊に説諭され尚ほ一日拘留の憂目に遭ひたるが憲兵隊に於て説諭されたる場合にも自分は時事新報記者なりとて熱を吐きたる由不埒千萬なる自稱記者といふべし

●極悪非道の鬼婆　金が仇の世の中とはいへ義理も人情も打捨て金と云ふ名前が附けば地獄の釜の底に飛び込んでも摑むだけの物を摑まねば承知せぬと云ふ慾面一點張の鬼婆もあれば有るものなり茲に福岡縣生れ現時營口元神廟街第三樓東側大工職高橋某方同居人島田フジ(四七)と云ふは常に浮世の浪風に馴れぬ婦女を誘拐して當地に連れ來り各所の料理店に賣飛すを以て唯一の職業となし之れまで其筋より嚴しき説諭を受けたる事も一再ならざるに生懲りもなく倍々その凄い腕と横に張切つた度胸は彼をして縱横無盡の藝當をなさしむ導火線とは聞くも身の毛のだよつ程恐ろしき鬼婆なり現に其職業の一部分なるや本年四月故郷に歸りて新谷リヨなる女を例の口調を以て甘くウン瞞まし當地に連れ來り直ぐ樣日本館に○婦奉公をなさしめ尚同館の女將をも言葉巧みに萬事を言ひ含め慾の皮に皺も腰も張切つたる鬼婆の本性、リヨが稼ぎし金をどこまでも捲き上げんとて煙草一服の間さへ金にせずば承知せぬと云ふ勢を以つて終には逆倒に吊して絞ればとて鼻血一滴も滿足に出ぬまで絞り上げたる揚句の果て尚飽き足らず密々某料理店へ百五十圓にて鞍替させんとて計畫中を前記リヨが看破り種々言葉を盡して其無法を改むれば却て近塲の無頼漢をして暴行を加へさせんとする意氣込みにてリヨも殆ど思案に暮れ彼れ鬼婆の外出中を見て一目散に軍政署へ驅け込み委細の話を係官に爲して其説論方を哀訴したりと云ふ實に憎みても尚餘りある不埒千萬極悪非道の鬼婆なり

●取調を意根に復讐？　去る廿九日の紙上に酌婦のドロンて云ふ題にて日の丸館酌婦香西キセ外二名の女共が何處へか逃げ失せたる事を記載したるが今同館主の其筋に訴へ出でし所に依れば或は是れ迄時折り登樓せる馴染客牛家屯野戰第四班香西組軍役夫朝倉高助及び橋本豐次郎等兩名が黒幕となり屁押をなせしにあらずやとの推察を係官に話せしを以て其筋にては取敢ず牛家屯憲兵派出所の憲兵をして一應朝倉橋本の兩人を召喚し取調べをなさしめたるに一向か丶る形跡もなき模樣にて其儘歸宅を許されたるに彼等兩人はいつかな承知せず大に館主の不埒を意根に持ち復讐をなさんとの意思なるや一昨日兩人連れ立ちて當地に來り同館附近を徘徊しつ丶ありし所を市内巡視の憲兵に怪まれ種々取調べを受けたる結果其不心得を懇々説論せられ事なく歸宅せりとは滑稽な話なり

投書かご

▲近頃此欄でも々見受ますが晝間公園地にて奇怪極まる醜体をして晝寢をして居る婦人がある僕等は毎日の樣に彼處を通行するが其度に諸外國人に對して實に面目ないお互に少しは氣を附けて貰ひたい(同胞生)▲此間平島某の筆誅が掲載してありましたが對手方の佐藤儀太郎は餘つ程惡徒ですよ僕は寧ろ平島に同情を寄せて反對に儀公こそ監獄送りに願ひたいものだ(公明生)▲表面僞善を裝ふて居る○○○○○は實に不埒千萬の男である彼か○○を鼻に掛けて脅迫的金儲けをして居る事は記者先生御存知ないのですか萬一御存知なくば立派な證據物件を差上ますよ(穴知生)▲近頃宿屋に無頼のゴロツキ共か澤山入込んでゴロ〳〵して居るが彼等は實に同胞の面汚しだ其筋にて無職業者には退去の嚴命と云ふ譯には行きませんか(眞の實業家)▲遼陽西門を出た氣休館に近頃かけた大行燈へ氣体館と筆太く書き出されたが餘り奇態な事であるそれとも奇態な娼賣をする主人の意を示すにや(一寸一本横槍生)▲

廣告

◎煉瓦販賣

上リ窯ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニ御需メクダサイ

二本町　高坂洋行煉瓦製造部　(電話九十番)

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業

右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候

營口南永世街第二市塲西へ入る

遼河運輸　同濟公司

移轉廣告　並に新來美形

拜啓追々暑さに向ひ申候處各位益々御清榮奉賀上候從て弊樓儀今般春帆樓支店跡引受け料理萬端諸事改良御手輕御清遊に適する樣店員車輪大勉强仕候尚内地より美形數人參り申候間何卒倍し新來美形と共に御引立あらんとを乞ふ

月　日　營口平野町元春帆樓跡　都樓　坂本ちか

御各位樣

◀競賣廣告▶

品目	
甘諸	二十三萬九千五百貫餘
馬鈴薯	三萬四千九百貫餘
紫蕨	一萬七千四百貫餘
切混布	一百貫餘
若布	三千〇〇貫餘
干午蒡	一萬三千七百貫餘
高野豆腐	四千二百貫餘
切干大根	二萬二千三百貫餘
慈姑	三百貫餘
人參	三百貫餘
糸若布	七千七百貫餘
南瓜	一萬二千七百貫餘
割菜	七千三百貫餘
ホミニー	八百貫餘
不良重燒麵麭	四千〇〇貫餘
不良精	六百石餘

以上入札保証金は各自見積價格の十分の五以上とす

右競争入札に附し賣却す入札望の者は七月一日より七月十四日迄の間に於て關東陸軍倉庫營口支庫に出頭し入札心得書契約書案現品等熟覽の上七月十五日午前第拾時迄に同支庫に入札書差出す可し即時開札す

此契約締結は關東陸軍倉庫營口支庫長金子義友担任す

明治卅九年六月三十日　關東陸軍倉庫

松岡病院

内科 外科 眼科 婦人科 診療

入院治療を諾す

殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す

元神廟街第百三十四號

全科醫士　松岡玄雄　(電話一五一番)

御披露

小亭義皆樣の御引立を蒙り日に増し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉强仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候

月　日　元神廟街　翁亭

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に增築し輕便と懇切を主とし一層院務を擴張し汎く專門の功果を收とす

○全身魔醉。○局處魔醉。○嶄新器械。○無痛手術。

梅毒 婦人科 外科 胃腸病 專門　日本醫院

會席料理　營口警務課前南江入る　三日月

一週年の祝意　寫眞定價半減　木村寫眞館

弊館爰に一週年之祝意を表する爲め何か面白き趣向を以て御得意樣の御愛顧に報し可申と存じ候處時節柄とて差控ゑ更に突飛の勉强をなし薄利にして勢力を惜まざるの考にて寫眞定價を半減となし艶麗にして巧妙なる寫眞を御寫し申上候間天氣の晴雨に不拘續々御來寫なし被下度候

七月五日より　八月五日迄

二に兼て此の技に敏腕にして熟練なる村田寫眞師を招聘なし器械の豐富は申二不及館主一同協力嶄新なる技術を奮て御寫し申上候

謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇萬事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉强仕候間何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候

御客樣　店一同

營口永世街第十二號（彌生跡）電話壹番

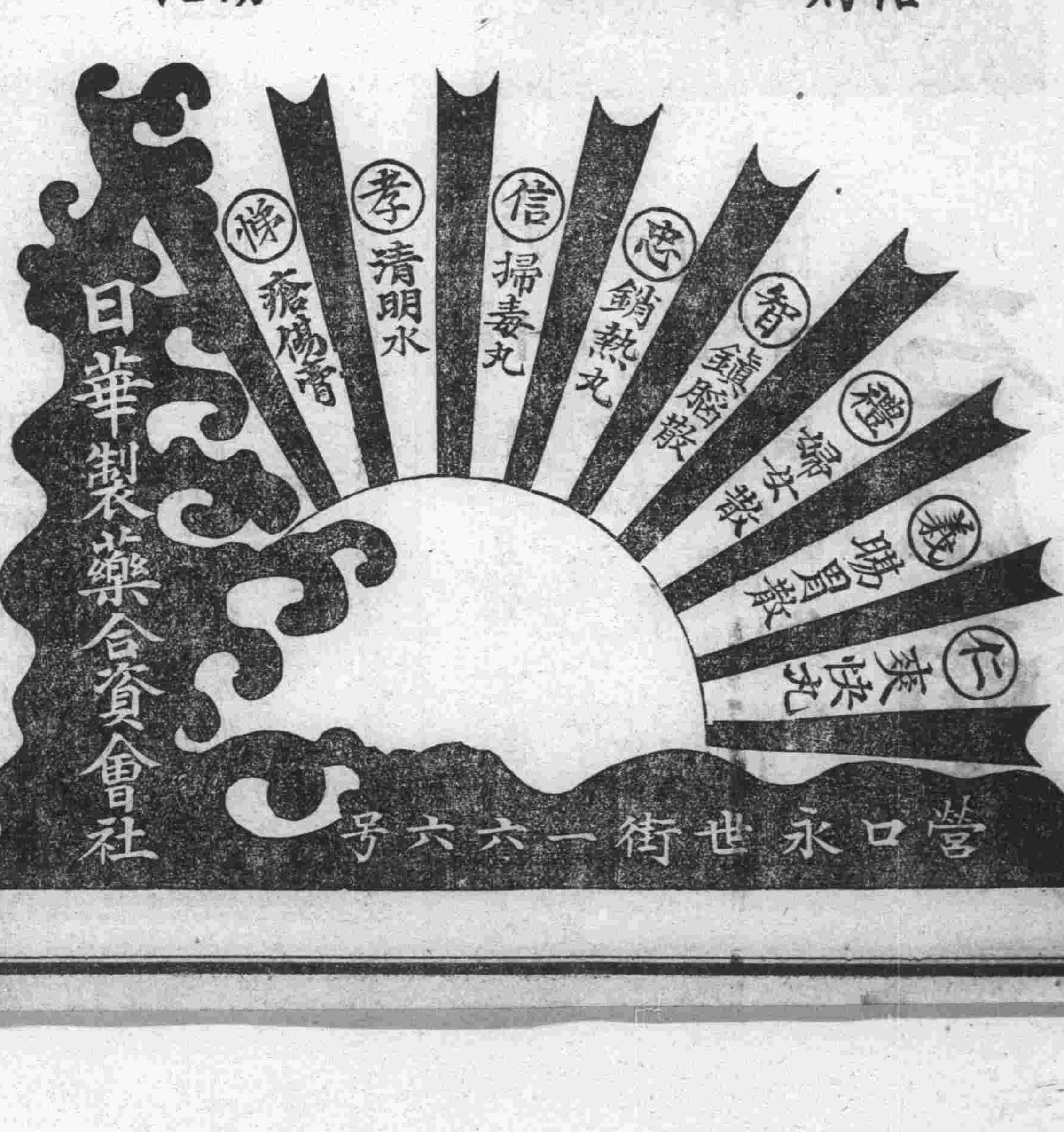
醉月

土木建築用諸木料
板硝子類
マソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー

廉價販賣

營口靑堆子綏定門外　志岐組　商業部

救治萬病　濟生八方　神効無比



店頭陳列 つり切

七月三日より十五日まで
第二回夏ものの荷着大賣出し
從來の通りくじ付景品を呈す
永世街 (キ) 木村呉服店
(電話八十八番)

石材 石灰
大販賣
英治洋行
(營口西北街)
(電話三二)

東營口西北街
裕和盛
電話八一番
東清鐵道遼河貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール、日本酒洋の鶴、洋酒、食料品、和洋罐詰、食器、内外烟草、葉巻、エジプト、文具、化粧品、金物類、肥前白米、醬油、酢、木炭、其外色々
卸並に小賣
彩票
毎月 大連 南洋 湖北 發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

○板材、木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花莚
○椅子テーブル ○ペンキ
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街
(石) 石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

新荷着
裝飾用簾 洋食用品 肉碎器 秤廿六貫以下種々
宗掛及附屬品 夏帽子各種 戸田式濾水器 宇治新茶
ワイシヤツ及カラー 學校用文房具各種 各種復寫簿
手提金庫 コツピー用附屬品
(電話五號)
關東公司雜貨部

飲料氷 田庄臺大盛貯氷公司 營口遼河畔
發賣元
營口元神廟街成功號三階 (電話一三四)
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

資本金參拾萬圓
日清合股
(昌)
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
象辦關内外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路緊要各站分局現方在設備中倘蒙遠近貨客愛顧惠祈貨客親自到本局房及各處分局購房面議爲荷特謹白倘途中倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明擔保如有市價包補此

廣告
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
一並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
東營口元神廟街
元神廟街日營貿易筋向と
寶泰祥
福興洋服所

靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

梅毒そう毒、しつ毒胎毒よこね、かんそう其他諸毒又ハのぼせ、頭、顔、頸、手足に腫物生し困難する人一日も早くためし見よ
諸毒やし 毒掃丸 一名一ヶ月丸
輕症ハ二三週間重きも一ヶ月間にて全治すべし故に一ヶ月丸の名有り
大日本帝國東京市山崎帝國堂大藥房製劑 毒掃丸
本劑實爲梅毒專治之靈葯故瘡毒、楊梅瘡、胎毒濕毒、淋毒、天梅毒、便毒、疳瘡、及筋骨痛梅毒性咽喉爛及口中紅爛先天及後感梅毒也眼疾頭痛耳鳴等症服本劑其効神速的確恰如操左劵凡用本劑病毒輕者則二禮拜乃至四禮拜全癒重者則百日乃至百五十日除根爲無一悞若無病之人常服本劑能快通大便排泄百毒庶足以徵其効驗也
●定價四日份三角 ●一禮拜份五角
總經理批發
營口永世街(司法部前)
回天堂三木大葯房
(電話百九十番)

營口永世街八十號
新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材
喜久洋行
(電話百五十二番)

自造
煉瓦 ● 瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
(電話八十六番)

廣告
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尙夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高麦酒スペシヤルライト等
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店
營口元神廟街 關東公司雜貨部
(電話五番)
分店
奉天四平街電話十三號
關東洋行

軍政署登記濟
正隆銀行
(電話二百十番)
凡人聲氣相投者則盻幟無分事理通達者則中外爲一茲有日本友人深水十八君老成練達長於理財先曾在正金銀行執業多年不但言語風情無不熟悉且於銀錢之調度尤能精通徹等與之交久深知其爲人因集銀十六萬圓開設銀號名爲正隆現時先湊一半作爲有限之責深水君爲總理彼任無限之責一切匯兌存欵借貸等情皆可融通格外克己中外紳商光顧者諸駕臨是幸
東般謹啓
本行は資本銀十六萬圓現拂込金額に對する有限責任にして日本親友深水十八君を聘し無限責任社員として行内萬般の事務を支配せしめ今回其二分の一を拂込を以て開業仕り早朝より夜半迄執務預金、貸付金、爲換其他銀行一切の事務取扱ひ殊に長崎、神戸、大阪、東京、横濱、上海、天津地方には日本の銀行と引合有之候間爲換御取組には至極御便利かと存候尙ほ詳細の事は御來行の上御問合被下度候
天は自ら助くるものを祐く
涵養省察

隆記銀行
本行係正隆銀行總理人深水十八創立開在東營口西北街第二三〇號代客專辦出口餅、油豆等所有上貨進口新樣機器東洋大宗各色貨物誠實無欺格外從廉十商賜顧者請到櫃上面議
本行主人敬白
小生儀今般上記名を以て豆、豆粕、豆油其他の輸出品及各機械並日本品各種委托賣買業を開始候に付きては多少に係らず續々御注文被下度尤も手數料の如きは可成低廉に專ら誠實を以て旨とし永遠に御取引相願度候
東營口西北街第二三〇號
支配人 深水十八

開店一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ
七月十日マデ
正札一割引
東京新形浴衣地類
呉服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
永世街第二市場東
石原商店

宮門抄

初五日

戶部　宗人府　正白旗值日無引　見　甘肅道熙麟謝　恩　江西道文炳謝　恩　德本因伊子授撰文謝　恩　山西補用知府萬里清謝　恩　張世培楊聖清預備　召見　順天府奏京師得雨四寸有餘

召見軍機　張世培

初六日

禮部　太常寺　正紅旗值日戶部引　見五名　禮部九名　工部五名　理藩院七名　光祿寺二名　正黃蒙一名　廂白漢七名　廂紅滿四名　內務府二十三名　順天府府尹袁樹勛到京請　安　穆精額由口外賜奠回京請　安　敬中堂等專摺謝賞粽子　恩　楊聖清預備　召見　振貝子續假五日　陳兆文請假五日

召見軍機　楊聖清　袁樹勛

代論

吳振麟上商部書

竊維銀行一事。既能使資本之繼長增高。財政賴以發達又能使金錢之化散爲聚。商業賴以靈通。故朝野咸蘄其利益。而言理財者。必不可少之樞紐也。比年以來。政府既設戶部銀行。民間亦有信成銀行。信用銀行之立。足以徵銀行之利。上下咸知。可以爲中國財政之前途賀。然而近日言銀行者。往往未達此旨。若謂建一中央銀行而已足。是不獨阻遏中國銀行之生機。實足以敗壞中國財政之發達。不能不爲中國財政之前途懼。更不能不爲中國商界之前途憂。彼持是說者。不盡出於一手。而攫大下之利。或亦[illegible]中央銀行。建設未久。規模未具。苟有他銀行起。容有相形見絀之虞。然而誤矣。蓋銀行愈多。不獨國家受無限之利。即銀行與銀行間。亦受交相爲濟之益。請言其故。一就資本與存欵言。建一銀行。欲招二百萬金股本猶不足。建十銀行。能招二千萬金股本而有餘。存欵亦然。建一銀行。不過羅致一部分之存欵。建數銀行。方能羅致數部分之存欵。資本與存欵。銀行家視爲要件。亦財政家所依爲性命。誠以天下金錢之聚散。有關乎國家財政之消長。此以多設銀行。而有益於國家者。爲宏大也。二就匯兌與借貸言。自來談富强者。不僅講舟車交通之便捷。更講金錢交通之便捷。故不論通都大邑。必立銀行。即窮鄉僻壤。亦莫不設有銀行。以便人民之匯兌。務使流通毋滯。考各國之富商巨賈。事業愈盛者。莫不與銀行之往來愈繁。故有銀行之市塲。貿易必盛。無銀行之市塲。貿易必減。蓋銀行者。隨時可借。隨時可還。商工業之便利。無過於是。此以多設銀行。而有益於商家者。匪淺尠也。三就拆息言。銀行欵項之出入。至爲無定。有時收入過於支出。貴有他銀行爲之挹注。有時支出過於收入。貴有他銀行爲之騰移。否則生利無著。竭蹶堪虞。此爲多設銀行。而互相受益之顯證也。四就稽查金錢之布散程度言。當今東西各國之富强。固由講求財政而來。而其要自講求民間之生計始。誠以國家之財。無非積民間之財而成之也。如欲講求民間生計。罔不以稽查金錢之布散程度爲本。此雖派遣稽查委員。亦不能察其詳。攷諸各國。莫不憑各地銀行之報告。蓋以銀行者。爲金錢出入之門。不必執人人而叩之。自然得布散之大數。是又非多設銀行。不足以窮財政之指歸也。五就因地制宜言。各地之商業。種種不齊。銀行亦商業之一種。不免因地而殊。或以存欵多。或以匯兌盛。或以借貸著。憑固有之沿習。不容相强。是則非多設銀行。不足以利用各地。金錢流通之所長也。六就改良進步言。按銀行之制。起於泰西。二百年以前。近又經學者研究。各出其新法美意。以爭雄於商界。故英有英國銀行之擅長。法有法國銀行之擅長。德有德國銀行之擅長。美有美國銀行之擅長。不能兼摹並倣。儘可擇尤而取。各自試驗。分任抉擇。是又在乎多方設立。始足以折衷各國銀行之菁華也。以上六端。多設銀行之利益。巳畧其概。歐美日本各國。凡人烟所到之處卽銀行所立之地。多者以千餘計。少者以數百計。又制定銀行專律。保護之。唯恐不備。獎勵之。唯恐不周。彼銀行之興起。良有以也。况乎今日之中國。已成爲列國商戰之地銀行者。商戰塲中之高壘。足以瞰視一切。歐美日本各國。通商於我國者。莫不設有銀行。如匯豐麥加利德華寶興正金道勝匯理義豐華比和蘭花旗等。徧列於香港、澳門、上海天津、芝罘、牛莊、漢口、鎭江、福州、厦門、諸埠。銀行之外。更有類似銀行。譯語所謂疊及開脫者。亦到處佈置。爲我今日計。彼等既設高壘之地。宜急築以圖對峙。彼等未設高壘之地。宜先築以防侵入。否則彼據於高壘。此處於平地。未有不遭其蹂躪者也。故使今日。猶不思鼓舞銀行之紛起。而惟阻抑之是務。是不啻以銀行權授之於外人。要知銀行權之所在。卽財政權之所在。將來財政之窘竭。何堪設想。徒使華人之欲開銀行者。不與洋人合資。使掛洋商牌號。爲叢毆爵。流弊滋甚。鼓舞與阻抑。一轉移間國計之得失。關繫至鉅。主指財政者。所宜三思。提倡商政者。更當熟考。而於銀行一事。萬萬不容付諸等閒者矣。

中外要聞

●派梁觀察赴安東原因　奉天電云安東開埠事宜前由趙次帥派張錢二觀察與日官開議辦法迄未就緒日官之意欲得趙帥親往商定故趙次山電商袁宮保請示辦理袁慰帥令其改派梁孟亭前往商辦聞梁素擅外交之長與日官議開埠事當不難於就緒云

●報告蒙茶滯銷　聞駐俄胡使報告據稱俄全國嗜華茶如衣食之一日不能去由恰克圖科布多販運者比較數目年見其少推究其原因實以近年俄國自行研究種茶之利益以攙以華茶而分茶利故現有俄商在蒙古地方設有製茶公司專研究製華茶方法與品味內攙俄茶若干成共製爲蒙古磚茶以行銷於蒙古及俄國故蒙古之茶頗受其累云

●奏專設西藏營兵　聞四川督錫良駐藏大臣有泰會銜電奏川藏防兵事宜畧稱現值川省裁撤綠營之際所例由川撥藏防兵一律裁撤專設藏營分防台站以免牽制亟詳定章程咨理藩院兵部核辦

●外部留學生裁司員消息　外部前因張副郎條陳議定司員留四成其餘均由留學生畢業生補用一節惟刻下暫不更動擬於每年八月間學部考試畢業生之後酌量籤分到部再引將應裁之司員歸分選升用以資獎勵

●擬籌海軍捐欵　官塲人云近有日本留學生等糾合同志創立補助與復海軍社刊印勸諭海軍捐啓招募欵項以充恢復海軍之的欵現在袁宮保已電商政府亦擬　照國民捐辦法俟集有欵項先設立海軍學堂以爲與復海軍基礎聞已電商張宮保周玉帥黍酌辦理矣

●唐侍郎將膺優獎　探悉政府以西藏南昌大問題均係唐侍郎之才力得以就緒故擬奏請將與以特別之優賞官塲人咸云將來唐侍郎有宮保榮銜之望

●林撫電陳補救圜法　戶部接桂撫林中丞電云號電敬悉圜法重在便民取足民用而止有時即賠耗工本而亦爲之者以便民爲利也即餘利極大亦不宜多鑄者多則病民直謂之害不可謂利也伸縮之權在大部不宜任各省爭鑄且各國以此爲補助品約惟十以上百以下始准用之永無復更官民出入莫不如是故無利無害即有餘利亦不恃爲國用而注意於爲民興利故利更無窮彼所謂經濟學者不爲公家謀足用專爲百姓謀公益去害而生利誠計之最得即百姓足孰與不足之理也無如中國積困已久從來無暇及此爲救目前之急不免剜肉補瘡愈困愈甚英商李德立曾刊書四布譏議及此良堪浩嘆鈞電慮壞圜法亟籌挽救誠憂深慮遠之至言欽佩無既竊以欲圖自强必求富民今日生財大道倘須舉國債行紙幣乃足爲民興大利必使民富而國乃可爲然均非旦結民信寬紓民力不可若銅元充斥不止官不收而强逼民用予其二而取其十是不結民信而轉失信不求富民而轉困民恐禍變莫測有磬所得餘利不足相償之慮大抵害民遍而且鉅以此充斥之銅元爲最挽救誠不可緩然必留紓民力結民信以待將來莫如即飭各省停鑄限爲補助之用官民公其出入舍此別無良策果能照辦則目前之銅元雖充斥尚不過多或可專歸部鑄視各省之盈虛而酌劑若各省少此銅元餘利無欵抵未知可舉國債用印花捐否如兩項暫不能行則請少練新軍以節糜費先安內以防外似亦一定之理迂庸之見知無足採猥承明問謬貢愚忱諒恕是幸紹年齊印

●俄邀求大臣辭職　俄國議定要求政府各大臣辭職

●法國工匠罷業　法國各地冶金工匠一律罷業

●俄國派軍團長　俄國派連涅漢木夫將軍補授悉比利亞第三軍團長

●德與日斯爭議作罷　德國與日斯巴尼亞國爭議稅務事巳經罷論俟臘月杪再整理一切

●中俄俟秋議約　英京每日電報錄東京電云俄國決定關於滿洲問題緩期秋間再行與淸國開議因兩國議約頗形棘手也

●飭公司遵章辦理　美國總統羅斯福君按禁止聯合公司章程對於斯坦達杜煤油公司及礦路諸公司等宣明宜仿該章程施行

●法議院之申明信意　法國議院對於政府改革民政一事申明頗致信意

雜報

●官銀行鈔票滯行　近者本埠到來奉天官銀行鈔票常見街市行使該票之式與他銀行鈔票相類惟係滿字漢字正面橫書奉天官銀行銀元票左旁豎書光緒年號中心橫書數目皆是漢字極其顯明北面乃豎書滿字數行多有未能識者而其間戳印八字文曰揉爛塗抹概不付錢咸曰此票照比日軍手票法則懸殊手　雖碎破數四黏而合一倘可付錢此票若同手票交遞市塲迭經人手安保久無汚抹揉折水涇黴壞等虞若藉此以生枝節便爲廢紙孰敢留此於是市場一般交易或先講不要該票云云

●匪黨欺人　昨聞埠民傳云西街有金鴻班龜奴李姓者向與附近某薙髮鋪交好由春至夏所有李梳辮薙髮一切及挪借等錢迄端陽節概未奉償前日李由該鋪經過遂呼向追討李以爲銜前呼討辱已因致決裂相毆乃被諸夥所控李歸遂遇其友周世五幷一素行好鬥之某馬夫向訴原委周及某二人助李返向尋毆該鋪夥等復被三人所控詎該夥等捨生抵抗又將李周並某馬夫暴毆而周係本埠社差往來衙署多熟乃具狀呈控即來劉王巡捕向該鋪未曾傳案先將該鋪夥等暴捶不已適遇河卡警監陳君見事不平謂該巡捕汝兩人有何公事奉來憲命令先來幫毆遂令將兩造相毆者一幷帶往衙署陳君立見憲兵備述一切憲兵大怒立將周等暴加撻責并將兩造全行拘押未知已經了結否

●本埠公議局之設立　本埠商會近來設一商業公議局專以爐銀收換軍票羌帖凡有出換軍票羌帖買爐銀者須向該局交易隨市論直前日該局收換大手票每元爐銀七錢二分七厘尋落至七錢二分時又至二分壹厘羌帖每元換爐銀七錢一分八厘云

叢談

●學法之奇　一千七百零一年匈牙利有孿生兩女至相聯不開者也有二十二歲而其後暹邏國以曾有此凡六十歲而死其死在一千八百七十四年其餘若美國南方之墨人及歐洲之波黑米亞亦嘗見諸記載此外尙多不可殫述至於畜類則如偃蜓一物共有四股而尤奇者一半睡著一半淸醒互相違反故動物皆能入水而此則不任浮游因其兩面互相牽掣也又有一最奇之水蟲產時本爲兩體兩名待泊兒柏旋即合抗一合物其形如篆文之乂亦一奇也

●和諧靈藥　西國有農家夫婦一人始則床頭詬誶繼攘臂而前謾詈喧嘩聲達戶外不勝其擾一日婦走告鄰嫗嫗曰是不難矣有法以治之爾姑待乃入內取水一盂攪以糖又加香料持之出告曰此專治夫婦不睦俟汝夫發怒時即以此水含諸口待其怒息然後下咽此法屢效勝服一帖平安散也婦諾之是夕其夫復以米鹽瑣屑遷怒於婦婦絕不與較遽將盂水納入口中待夫怒息而咽之如是者數四而其夫之怒竟如火燒空不撲自滅矣鮮忿妙法莫過於是夫婦和而後家道成家庭肇釁半由婦之多言得此嫗妙法以排難解紛眞萬全良藥也惟恐婦人氣動不能飲此靈丹妙藥耳

●五十餘歲之初等小學生　廣東瓊州府屬臨高縣自上年楊前縣創辦初等小學堂一所考選學生五十名去冬林令接任將該堂學生考試策問以籌款改辦高等學堂爲題目所試非所習林令以學生文字非佳遽將全堂學生裁退數十名學生大譁聞二月間曾續行招入學生補額乃有老學生符文蔚一名年逾五十鬢髮巳白王必明陳董桓陳以明等三名均年在四十歲以上其餘亦皆三十餘歲者此堂號爲初等乃以垂暮者混充髫齡一時謠傳公孫班之名誠可稱學界中之怪劇

開行
山海關發前八、一五　五、〇〇　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、一〇　四、一〇　天津同　一一、〇九
天津着　三、三四　五、三五　塘沽同　后一二、三一　前一〇、四五
北京着　六、五〇　山海關着　六、一〇　六、一一
大石橋發前八、〇五　后二、〇五　大石橋發前七、三五　后二、〇五
南關嶺后　九、〇七　奉天　同后
大連着同　九、五〇　同　一、一五　鐵嶺　着同
昌圖

局
東青堆子橋南
淡谷木廠

永世街一四一（森病院三軒目）
土木建築用鐵材料
滿外鑄物諸般

喜所
報務

昨日の氣溫
最高溫度八十四度
最低溫度六十九度

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理 董二溫泉 毎日新湯 河岸通り 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一八七番、四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

御料理 樂々亭 營口元神廟街

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百平九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街　七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

奉天旅館料理屋案內

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街稍の海角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話　號）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーヂワイシヒ 奉天小西關大街北側（電話　號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話　號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街寛華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話　號）

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉すき燒 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話）

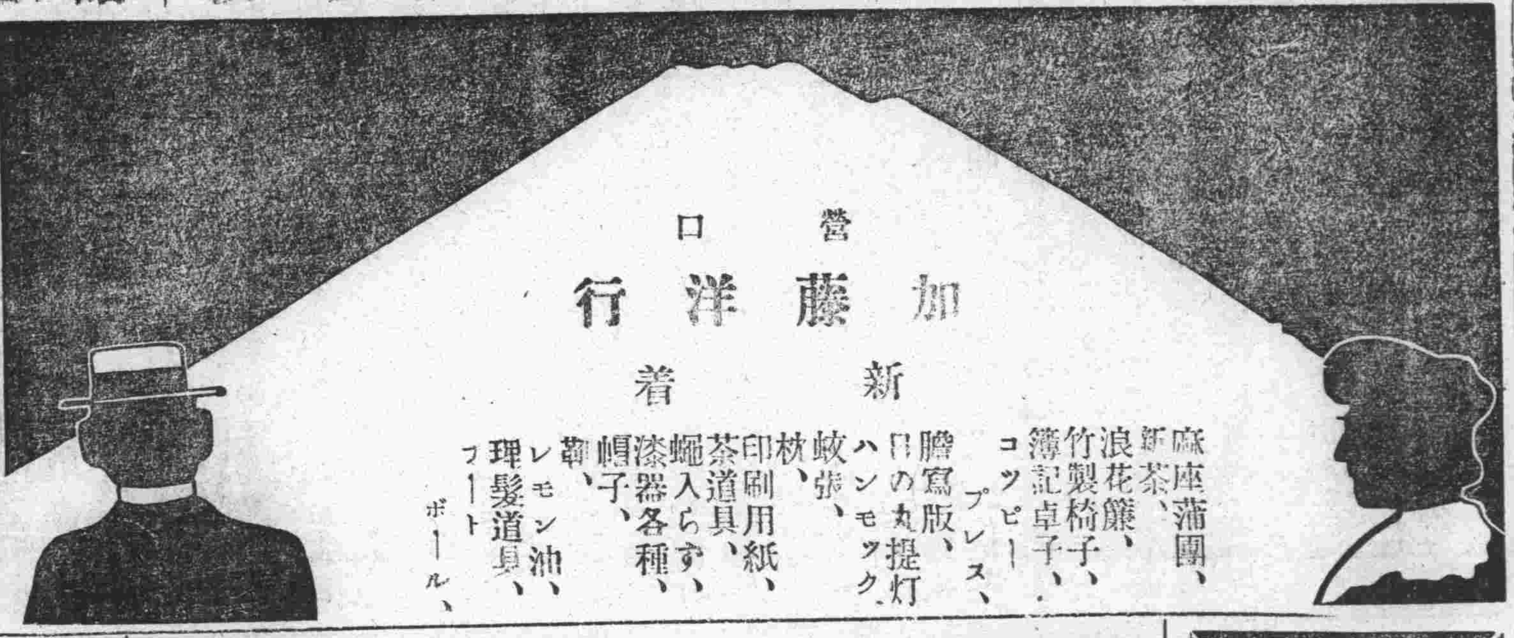
御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回大改良を加へ旅館専業にし御客様の便利を斗り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

旅館御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話　号



和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城內東街八九號 電話　號
屋新築し樓上等ゞ暑に願する設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上 樓主 川上總吉

御料理旅館 三河樓支店
弊館は奉天城外十間房第一風景美なる地にあり最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家

日本石炭新荷着 多少に係らず御用仰付られ度候 綏定門外 電話百五七 新玉倉庫

和洋諸雜貨 食料品卸小賣 各種賣藥卸小賣 奉天小南門ノ後 中越洋行 中越大藥房
但シ賣藥部ハ臨時診察モ應ス 街以後吉林長春ハルピン地方へ御越シノ方有之ト聊カ御示談申上度義も之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

御旅館 和洋御料理 奉天軍政署指定旅館 奉天館（電話十四番）

奉天城內鐘樓南大街 日淸俱樂部（電話十五番）

奉天城內大南門裡大街 西洋洗濯 麵麭製造 日本大工 靴製造 理髮 裁縫 氷卸小賣所

御料理本店 奉天小西關新來営街々 金城館（電話十九）

御旅館 奉天小西門街大什字街 金城ホテル（電話二〇）

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ新に江戶生粹の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方様には一入の興味を感ぜらるゝことゝ奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼旁わつさりと晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理支店 營口永世街 金城館（電話八三）
御旅館支店 營口永世街 金城ホテル
御料理支店 大連市吉野町 金城館
御旅館支店 大連市吉野町 金城館

永世街第廿八號 大原洋行
白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約 東京タクアン 其外和洋酒類（無比廉價販賣す）

土木建築並ニ測量設計請負 營口靑堆子綏定門外 志岐組

新着 YEBISU 金針洋行 盛進商行

輸出組合 日本官煙專賣處廣告
江副洋行及代々木煙公司の儀は從來合同營業として日本政府製造煙草一手販賣の特許を受け露領へ輸出致居候處今囘之を擴張して輸出組合を組織するの認可を得更に滿洲地方の各營業をも合同致候上大連安東縣營口遼陽奉天鐵嶺の各地に日本官煙專賣處と稱するものを置き專ら華客の御便利を圖り誠實廉價を旨とし營業仕候間倍舊御引立被成下度奉願上候敬白

兩切紙卷煙草
一ロングライフ　一リリー　一チエリー
一スター　一ゴールデンペット　一オリエント

口付紙卷煙草
一朝日　一大和
一敷島　一ほまれ

刻煙草
一福壽草　一白梅
一さつき　一あやめ
一はぎ　一もみぢ

代理店所在地
旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城

本號係代々木煙公司江副洋行兩號合辦。現開設在大連安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺等處。專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）媽禮（軍旗牌）隆估來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳ス巴德（蝙蝠牌）第九種及煙絲福壽草、白梅、杜鵑花、菖蒲、胡枝、紅楓、等六種、蘭馨佳馥、不啻品色結佳。甚適衞生。而價極廉。均已馳名。大方士商賜顧者。請光臨本號或經理。面議可也。此佈

代理店所在地
旅順口、金州、蓋平、新民府、昌圖、鳳凰城、

營口河岸通（舊代々木商會跡）
日本官煙營口專賣處

爲替相場（七月三日）
日本向 百〇二圓二十五錢（寄票百圓に付）
上海向 七十一兩八分ノ三（同）
天津向 一百三圓六十二五錢厘（百弗に付）
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘

日本品最近物價表 加藤洋行
紙類
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖（六十枚）、六十錢

一狀袋 仝 二十枚縮 三錢二厘以上四錢
一 百枚 十三錢以上十八錢
室內裝品飾及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一摩プトン 十帖 　圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄椽 十枚 八圓
一麻緞通 一疊敷 三圓
一綿緞通 仝 三圓五十錢
一由加多織 仝 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 銀四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 銀二十仙